

平成30年度  
動物実験に関する自己点検・評価報告書

岡山理科大学

2019年6月

## I. 規定及び体制等の整備状況

### 1. 機関内規定

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
・岡山理科大学における動物実験に関する取扱規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
獣医学部・研究科の新設、ならびに、学内「各種委員会規程の見直し」方針にしたがって、規程の改定が必要となったため、規程の見直しならびに改定を行った。環境省の実験動物飼養保管基準で求める「人と動物の共通感染症の対応」に関する項目が規程に盛り込まれていない。
4) 改善の方針、達成予定時期
「人と動物の共通感染症の対応」を規程に追加するため、2019年度中の改定を目標に改定作業に着手する。

### 2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
・岡山理科大学における動物実験に関する取扱規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
動物実験委員会が適正に組織され運営されている。動物実験委員会の構成（平成30年4月1日現在）：教授3名、准教授4名、外部委員1名（国立大学教授）の計8名（動物実験等に関して優れた識見を有する者：6名、実験動物に関して優れた識見を有する者：1名、その他学識経験を有する者：1名） 学内「各種委員会規程の見直し」方針にしたがって、取扱規程より、委員会に関する規定を分離し、委員会規程として改めて定めた。獣医学部・研究科の新設に伴い、岡山キャンパスならびに今治キャンパスに全学動物委員会の下部組織（部局）を設置した。2019年度より施行。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

### 3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。

<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・岡山理科大学における動物実験に関する取扱規程 ・動物実験計画書 ・動物実験結果報告書 ・変更追加承認申請書 ・動物実験の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程により動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針 該当しない。

#### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・岡山理科大学における動物実験に関する取扱規程 ・岡山理科大学安全対策マニュアル ・岡山理科大学組換えDNA実験安全管理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程等により安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針 該当しない。

#### 5. 実験動物の飼養保管の体制

（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・岡山理科大学における動物実験に関する取扱規程 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・実験室設置承認申請書

<p>・実験動物飼養保管状況の自己点検票</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 規定により飼養保管施設が定められ、管理者及び実験動物管理者が置かれている。</p>
<p>4) 改善の方針 該当しない。</p>

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

<p>特になし。</p>
--------------

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・動物実験委員会の開催日時および審議・審査内容の記録 会議開催：1回 (平成30年11月20日) メール審議：1回 (平成30年4月1日～4月4日) メール審査：46回</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 規程に基づき適正な委員会活動を実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針 該当しない。</p>

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・岡山理科大学動物実験計画書 ・動物実験中止・完了報告書 ・動物実験の自己点検票 ・動物実験管理委員会での審査内容の記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 規程に基づき動物実験が適正に実施されている。</p>

平成30年度の実験計画承認件数48件（うち実施41件）。
4) 改善の方針 該当しない。

### 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山理科大学動物実験計画書</li> <li>・動物実験中止・完了報告書</li> <li>・動物実験の自己点検票</li> <li>・動物実験施設設置承認申請書</li> <li>・実験室設置承認申請書</li> </ul>
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。 対象となる平成30年度の動物実験計画書の審査件数：12件
4) 改善の方針 該当しない。

### 4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山理科大学動物実験計画書</li> <li>・実験動物飼養保管状況の自己点検票</li> <li>・動物実験施設設置承認申請書</li> <li>・実験室設置承認申請書</li> <li>・動物飼育室の利用マニュアル</li> <li>・緊急時対応マニュアル</li> </ul>
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

<p>飼養保管が適正に実施されている。動物飼育室の利用マニュアルが整備されていなかった岡山キャンパスの1施設について利用マニュアルを整備した。新設キャンパスにおける動物施設の運用を開始し、現在、利用マニュアルならびに緊急時対応マニュアルを整備中である。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>2019年度中に、今年度新たに開始した今治地区の利用マニュアルならびに緊急時対応マニュアル完成を目標に作業に着手している。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物実験施設設置承認申請書</li> <li>・実験室設置承認申請書</li> </ul>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>機関内の飼養保管施設は適正に維持管理されている。</p> <p>承認された飼養保管施設7ヶ所</p> <p>承認された実験室9カ所</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当しない</p>

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山理科大学動物実験講習会実施状況</li> <li>・岡山理科大学動物実験講習会資料</li> <li>・実験動物管理者研修会修了証</li> </ul> <p>講習会実施回数：11回 (岡山キャンパス：6回、今治キャンパス：5回)</p> <p>講習会受講者数：369名</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>講習会の内容のうち、一部、基本指針で求められている内容が不足している。実験動物管理者の教育訓練受講済 (1名) (平成28年度研修会、日本実験動物学会主催) (次年度再受講予定)。</p>

4) 改善の方針

実施した教育訓練の一部に人獣共通感染症の内容が不足していたため、次年度からその内容を充実したものとする。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・平成29年度の動物実験に関する自己点検・評価報告書
- ・岡山理科大学ホームページ

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

情報公開として基本指針で例示されている内容のうち、実験動物の飼養および保管の状況についての情報に不足がある。

4) 改善の方針

実験動物の飼養および保管の状況について、情報を収集し、本報告書で公開する。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

実験動物慰霊祭を開催した(岡山キャンパス:平成31年2月5日、今治キャンパス:平成31年1月15日)

9. 添付資料

H30年度使用頭数

マウス 1498

ラット 610

ハタネズミ 1131

モルモット 9

ハムスター 30

スナネズミ 110

トゲマウス 190

ヌートリア 4

シンクス 170

ウサギ 2

ウズラ(受精卵) 170

\*哺乳類・鳥類・爬虫類以外の使用状況:カエル(21匹)、イモリ(8匹)、魚類(330匹)

H30年度実験動物の飼養状況(頭数)

マウス	240
ラット	130
ハタネズミ	180
ハムスター	30
スナネズミ	60
トゲマウス	60
ヌートリア	5
スンクス	120
ウサギ	2
イヌ	5
ネコ	8

(平成31年3月末現在)